



UTMD

The University of Tokyo
Market Design Center

安定マッチング：**理論**と実証

競争政策研究センター（CPRC） 2025/09/05

今村謙三（東京大学）

久野 寛（東京大学）

アウトライン

- マッチング理論、特に安定マッチングに着目する
- 安定マッチングには二つの使われ方（規範と記述）がある

1. 安定マッチングの概要
2. 安定マッチングの二つの解釈
3. 安定マッチングの記述的解釈と応用
4. 安定マッチングの拡張と限界

安定マッチングの概要

■ マッチング理論

- **マッチング理論 = 人と人、人とモノなどをマッチングさせる**
- マッチング理論の前提
 - 参加者が2タイプに分類される
 - 金銭移転がない
- マッチング理論の何がうれしいのか
 - **金銭移転がない市場にも適用可能**
 - 現実に金銭移転がない（できない）市場は多くある
 - 学校選択、保育園入所調整、養子縁組
 - 研修医マッチング、社内の人材配置

安定マッチング

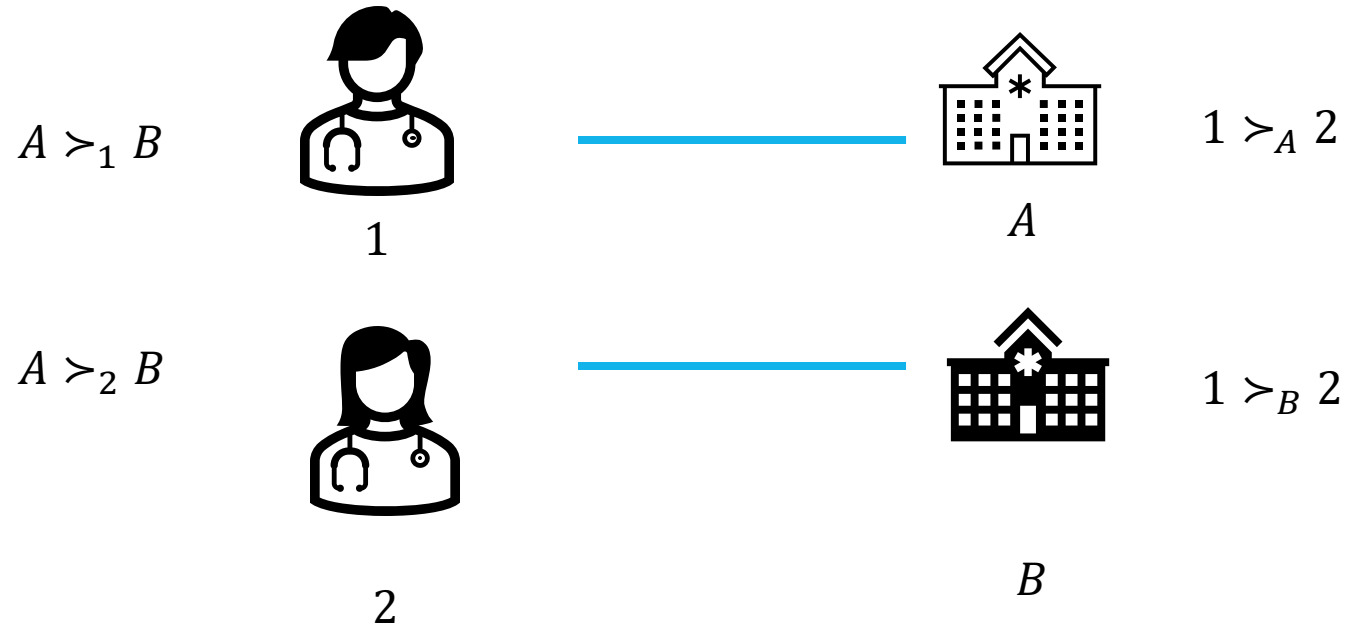
■ 安定マッチング＝ブロッキングペアが存在しないマッチング

- 安定マッチングからは抜け駆けが起きない

■ なぜ安定マッチングに着目するのか？

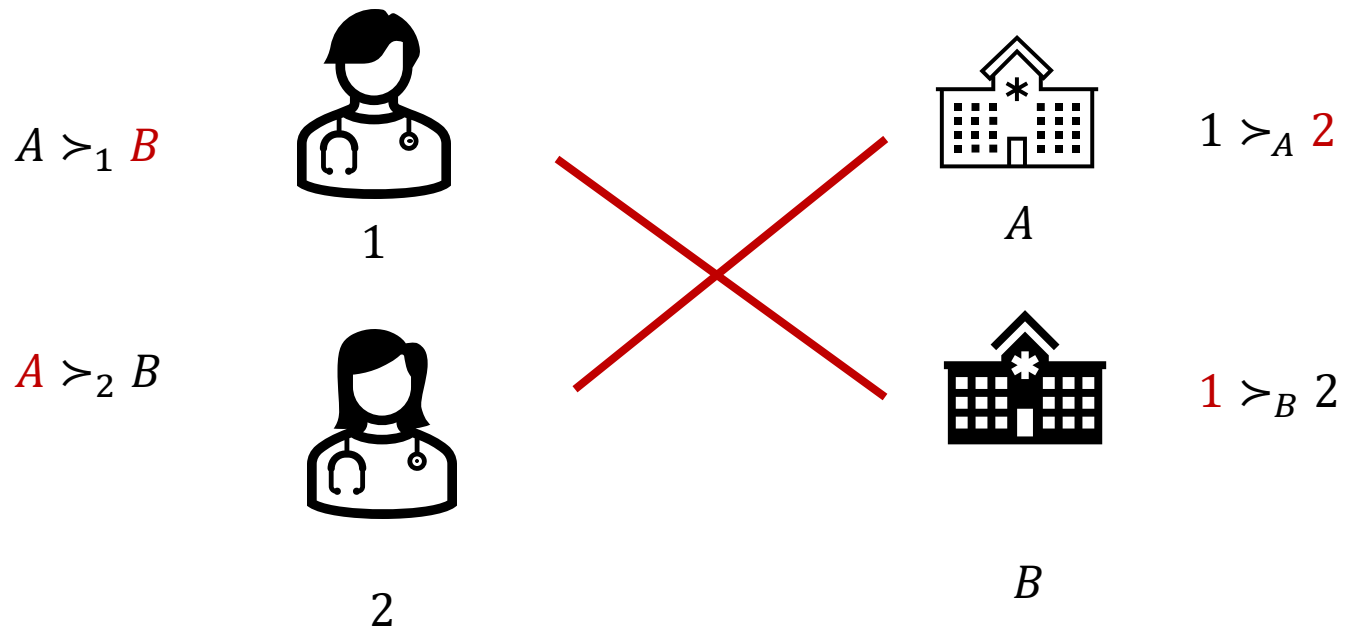
- 公平なマッチング
- ミスマッチがない
- 制度の安定性
- 現実起きていそうな状況と想定できる

安定マッチングの例





不安定なマッチングの例



研修医1と病院Aのペアがこのマッチングをブロックする

安定マッチングの応用

安定マッチングには2つの使われ方がある

1. 現実への実装

- 学校選択（入試）、研修医マッチング、保育園入所調整、企業内人材配置、デーティングアプリ、養子縁組

2. 現実を説明するためのツール

- 結婚、企業合併、サプライチェーンの形成

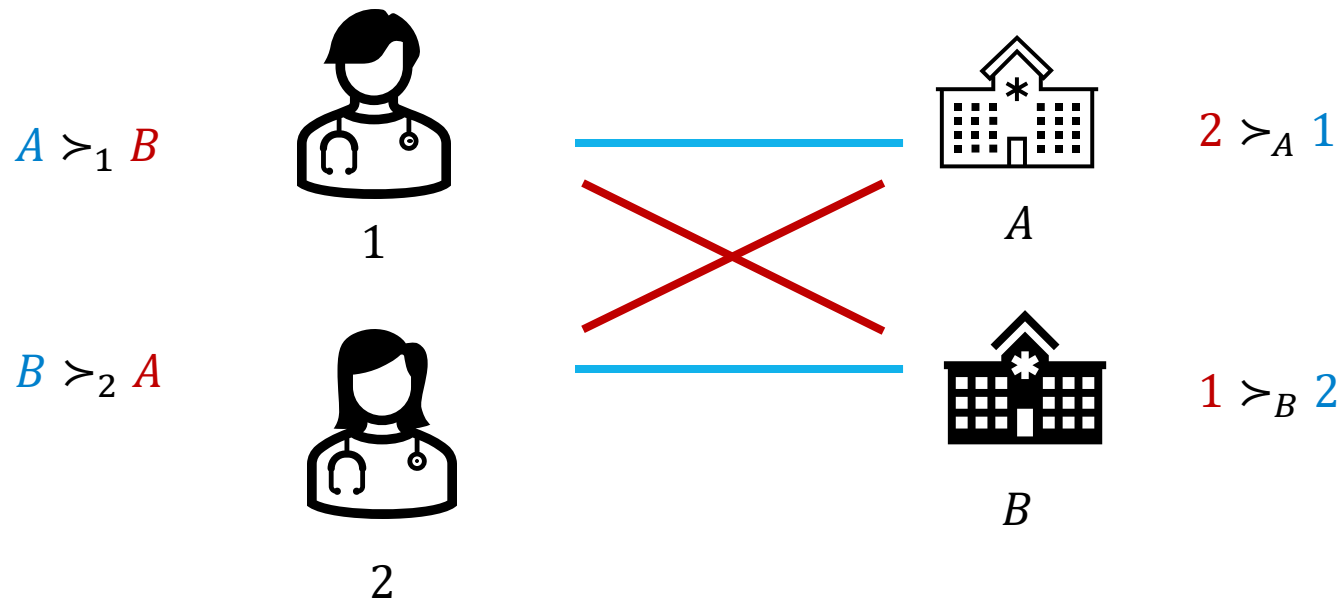
安定マッチング理論のモデル

- 研修医の集合： $D = \{d_1, \dots, d_n\}$
- 病院の集合： $H = \{h_1, \dots, h_m\}$
- 研修医 i は病院（とマッチしないこと）に対して選好 \succsim_i を持っている
- 病院 h は研修医（とマッチしないこと）に対して選好 \succsim_h を持っている
 - 病院が複数の研修医とマッチングする拡張もできる（定員 c_h の導入）
- ペア (d, h) がマッチング μ を**ブロック**するとは $h \succ_d \mu(d)$ かつ $d \succ_h \mu(h)$
- マッチング μ が**安定**であるとは
 1. 個人合理性： $\mu(i) \succsim_i i$ を満たす
 2. ブロッキングペアが存在しない

安定マッチングの性質

- **安定マッチングは常に存在する**
- 安定マッチングは**受入れ保留（DA）アルゴリズムで見つけることができる**
 - 受入れ保留アルゴリズムにおいて研修医は正直申告がベスト
 - 受入れ保留アルゴリズムは高速なアルゴリズム
- 安定マッチングは**1つとは限らない**
 - 研修医最適安定（病院最適安定）マッチング
 - すべての研修医（病院）にとって最適な安定マッチングが存在する
 - 僻地病院定理
 - ある安定マッチングで人気のない病院は、どの安定マッチングでも人気がない

安定マッチングの例



青いマッチングは研修医最適安定マッチング
赤いマッチングは病院最適安定マッチング

安定マッチングの解釈

安定マッチングには2つの解釈がある

1. 規範的解釈

- ブロッキングペアがない＝公平・効率的なマッチング
 - 高校入試制度：不公平のないマッチング
 - 企業の人材配置：ミスマッチのないマッチング

2. 記述的解釈

- ブロッキングペアがない＝安定的な状態
- 現実にかかる安定な状態（と想定できる）
 - 結婚、企業の合併、サプライチェーンの形成

安定マッチングの記述的解釈

- 現実にかかる安定な状態
 - 安定でないマッチングは抜け駆けされるため、現実には起こらない（と想定できる）
 - 現実のマッチングが安定マッチングであると想定できる
- 記述的解釈の何がうれしいのか
 - 現実のマッチングのパターンを説明できる
 - **観察できない参加者の選好を逆算できる（選好の推定）**
 - **政策介入後のマッチングの変化が予測できる（反実仮想）**

安定マッチングと選好の逆算

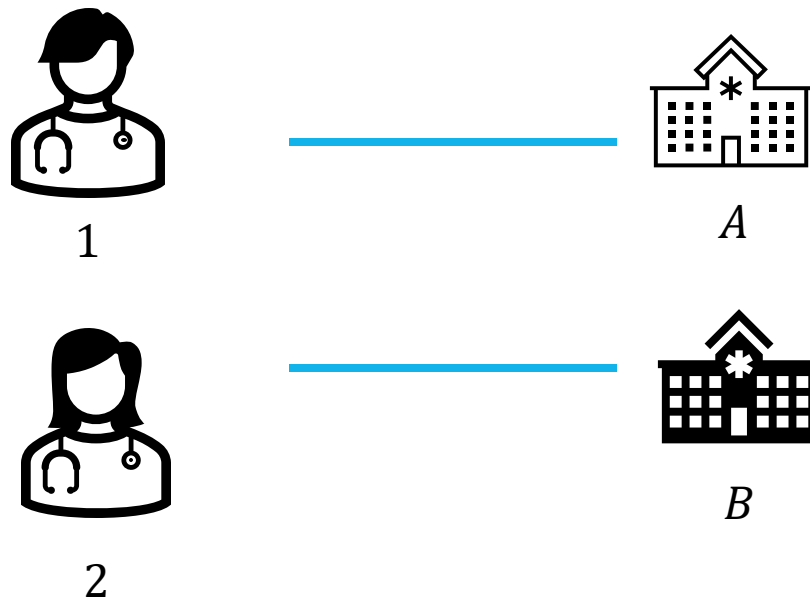
■ 現実では参加者の選好は観察できない

- 選好は重要な情報
 - どんな学校、保育園が人気があるのか（需要）が分かればリソースの分配に役立つ

■ マッチングは観察できる

- 観察されるマッチングが安定マッチングであると想定すれば選好を（ある程度）逆算できる
- 安定マッチングでは起こりえない選好を消していく

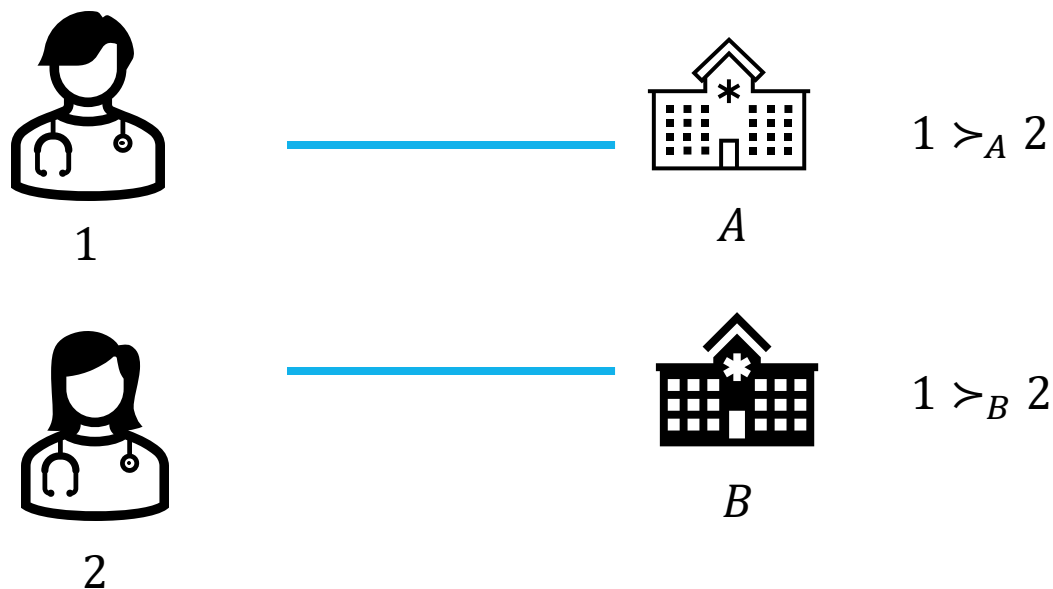
安定マッチングと選好の逆算



$A \succ_1 B$ あるいは $2 \succ_B 1$ である
そうでなければ、ブロッキングペアが存在してしまう

安定マッチングと選好の逆算

観察できる構造を追加・仮定すれば、選好はさらに絞れる



病院側の選好を観察できたとする（例えば、保育園入所や学校選択）
 $A \succ_1 B$ であると決定できる

安定マッチングの記述的解釈と政策介入

マッチングの変化を予想できる

- 病院が増える（あるいは定員を増やす）と
 - 安定マッチングでは研修医は改善し、病院は悪くなる

選好が推定されていれば反実仮想で定量分析もできる

- 政策介入によってマッチングはどう変化するのか
 - 病院が増えると、どの研修医がどの程度改善し、どの病院がどの程度悪くなるのか？
 - 地域上限（都市部にマッチする研修医の数の上限）を課すとどうなるのか？

■ 補論：安定マッチングと競争均衡

■ 競争均衡

- 競争均衡は経済学における記述的分析の基礎
- 競争均衡 = 与えられた価格の下で全員がベストなものを選び、かつ需給が一致している

■ 安定マッチングは競争均衡的解釈をもつ

- マッチングが与えられると、自分が選ぶことができる相手の集合が決まる
- 安定マッチングはその集合から一番良い相手とマッチしている状態

■ 競争均衡的解釈は選好の推定にも役に立つ

安定マッチング 拡張と限界

安定マッチング理論の拡張

■ 制約付きマッチング

- 地域制約：研修医マッチングの都道府県別上限
- アファーマティブアクション：女性枠、低所得家庭優遇

■ 金銭移転可能なマッチング

- オークション、結婚、企業の合併

■ 参加者が2タイプとは限らないマッチング

- ネットワーク、サプライチェーン
 - 例：上流、中流、下流の企業

マッチング理論の限界

安定マッチングが存在しないケースもある

■ 外部性

- 自分が誰とマッチするかだけでなく、他人が誰とマッチするかにも影響を受ける（例：企業の合併、学校選択の同級生効果）

■ 補完性

- 複数の相手とマッチする際に、マッチ相手の価値が他のマッチ相手に依存する（例：研修医マッチングとカップル、保育園入所と兄弟、比例制約）

■ 対処法

- 仮定（構造）を追加する
- 参加者が多いマッチング市場ではこれらの問題が（一部）解決できる



UTMD

The University of Tokyo
Market Design Center

安定マッチング：理論と実証

競争政策研究センター（CPRC）

今村謙三（東京大学）

久野 寛（東京大学）

後半の概観

- 前半で紹介した**マッチングの安定性**は、選好を推定する際にも有用
- 選好を推定できれば、政策的な問いにシミュレーションで答えられる
- 例えば...

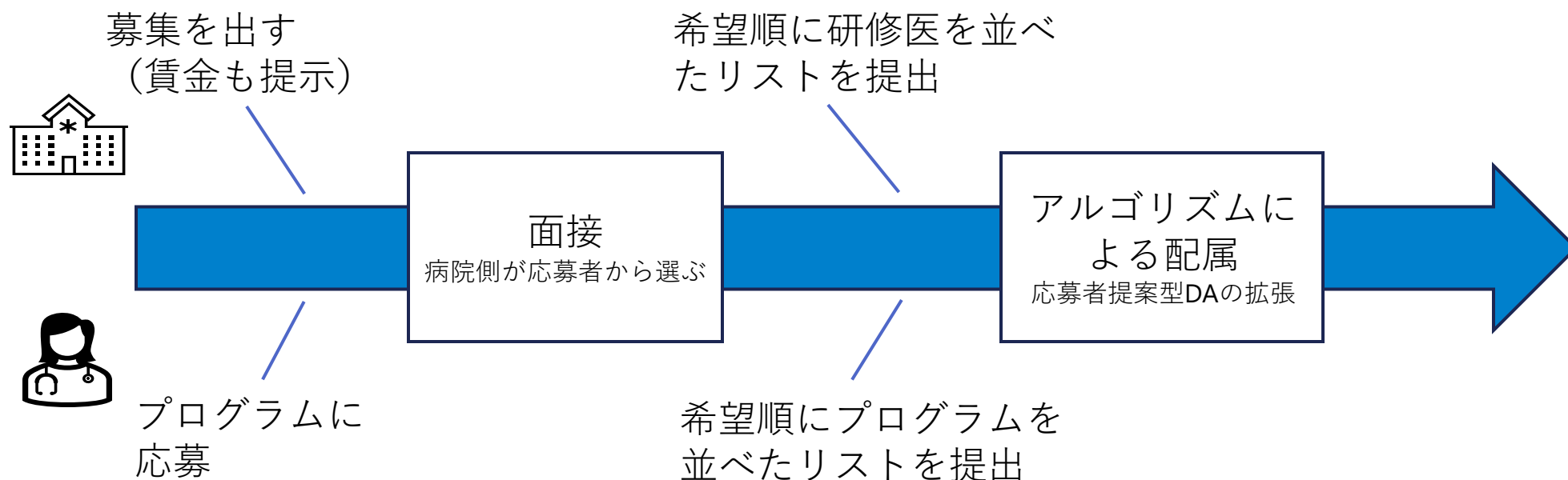
中央集権的なマッチングは競争を妨げるのか？

- 実際に米国の研修医マッチングが賃金競争を阻害しているかが争われた
- 本日は同事例を分析した Agarwal (2015)に沿ってマッチングの実証を紹介

Agarwal, N. (2015). An empirical model of the medical match. *American Economic Review*, 105(7), 1939-1978.

■ 米国の研修医マッチングについて

- 米国で医師になるには、学位取得後に3～7年の臨床研修を行う
- 病院による研修医の青田買いが横行し、内定の前倒し競争が進んでいた
- 混乱状態を脱するべく、1952年に中央集権的マッチングが導入された
- 実施主体はNational Resident Matching Program（通称 **"The Match"**）



Jung et al. vs AAMC 訴訟（2002年）

- 2002年に元研修医らが Sherman法 § 1 違反を主張し、NRMPらを提訴
- 原告の主張
 - 賃金交渉の余地があれば病院間で**賃金のつり上げ競争** が起き得る
 - 賃金が事前に固定されているマッチングではそのような競争が行われない
 - 結果として、研修医の給与は競争水準を下回っている
- 2004年の法律改正によりNRMPは反トラスト法適用除外となり、訴訟は棄却
- ポイント

マッチングが無い場合の給与水準はどの程度？

□ 実際の訴状 (Alvin Roth のサイトより)

THE NATIONAL RESIDENT MATCHING PROGRAM

83. Defendants contract, combine and conspire to restrain competition in the recruitment, hiring, employment and compensation of resident physicians through the NRMP matching program, a mechanism that eliminates a free and competitive market and substitutes a centralized, anticompetitive allocation system assigning prospective resident physicians (“applicants”) to a single, specific and mandatory residency position. Defendants collectively design and implement this scheme and collectively agree to and comply with its anticompetitive restrictions. The NRMP matching program has the purpose and effect of depressing, standardizing and stabilizing compensation and other terms of employment.



実際の訴状（Alvin Roth のサイトより）

84. The anticompetitive purpose and effect of the matching program is revealed in its genesis. In 1952, the hospitals and other entities employing resident physicians determined that the continuation of free competition in recruiting, hiring, employing and compensating resident physicians was undesirable because the number of available residency positions outpaced the number of available candidates. Employers determined that continued free competition would “bid up” compensation and other terms of employment by which employers commonly compete to attract employees. Creating the matching program enabled employers to obtain resident physicians without such a bidding war, thereby artificially fixing, depressing, standardizing and stabilizing compensation and other terms of employment below competitive levels. These anticompetitive goals continue today, as the NRMP itself recently recognized in stating: “The sole purpose of the matching program is to allow both applicants and programs to make selection decisions on a uniform basis and without pressure.”

安定マッチングに基づいた選好の推定

■ 構造推定に対するモチベーション

- 「仮に中央集権マッチングが無かった場合」という**反実仮想**を知りたい
- そのためには研修医の病院に対する選好を知る必要がある（逆も又然り）
- ここで「選好」とはどういうマッチ相手を好むか（賃金、研修の質等）

■ 今日はNRMPの事例を実証分析したAgarwal (2015)を紹介

- マッチ結果のデータから研修医・病院の選好を推定
- 識別戦略は、**マッチングの安定性**（+いくつかの制約）に基づく
- マッチングがなくても相当程度の賃金マークダウンが存在

■ マッチ結果のみがわかるデータ

- 研修医の全数調査であるNational Graduate Medical Education Censusを使用
- 使える変数
 - マッチ結果：どの研修医がどの病院のどのプログラムにマッチしたか
 - 研修医の属性：出身校の研究費_(NIH)・難易度_(MCAT)、出身地、性別等
 - プログラムの属性：研究費_(NIH)、病床数、患者の重症度_(CMI)、種別等
- 提出された選好リストは観測不可
- 2004～2011年度にかけての家庭医の研修医マッチングを対象

■ 選好のモデリング

■ 研修医*i*の病院*j*に対する選好

$$u_{ij} = \mathbf{z}_j \beta_i^z + w_j \beta^w + \xi_j$$

プログラムの質を測る変数
(研究費、患者の重症度、病床数等)

賃金

観察不能なショック

■ 病院*j*の研修医*i*に対する選好

$$h_i = \mathbf{x}_i \alpha + \varepsilon_i$$

研修医の人的資本を測る変数
(出身校の研究費、難易度等)

観察不能なショック

- 研修医の望ましさが病院間で共通の指標「人的資本」に集約される

■ これらの選好はデータから直接的には観察できないことに注意

安定マッチング

- データにあるマッチ結果はpairwiseな**安定性**を満たしていると仮定する
- 前半で紹介したように、以下の性質が満たされていなければならない
- **個人合理性**
 - 与えられた病院より「無配属」の方が良いと思う研修医が存在しない
 - 与えられた研修医を拒否したいと思う病院が存在しない
- **ブロッキングペア**が無い
 - 「今の相手より互いに組みたい」と思う学生と病院のペアが存在しない



マッチ結果のみから選好を識別できるか

- 一般的に1対1のマッチ結果のみから選好は**識別できない**
 - 安定マッチングなら人的資本の高い研修医ほど望ましい病院とマッチする
 - 例えば「名門校出身の研修医ほど大規模な病院とマッチしている」とする
 - 「研修医が規模を重視」「病院が学歴を重視」のどちらがより強いかわからない
- 実際には一つの病院に**複数の研修医がマッチ**している
 - 安定マッチングなら、これらの研修医は同じ人的資本を持っている
 - これらの研修医の学歴のバラツキが大きければその他の要因が大きいはず

(興味のある人向け) 二面マッチング市場における識別の問題は、選択集合が内生的・観察不可能・異質であることに起因している。詳細は、Diamond and Agarwal (2017), Menzel (2015, 2017), He et al. (2024)参照

□ 推定も安定マッチングに基づく

■ 選好のパラメタを以下のように推定

1. データからマッチ結果に関するいくつかの特徴（**モーメント**）を構築
 - 研修医と病院の属性の共分散、研修医の属性の病院内の分散等
2. 観察不能なショックを乱数発生させる
3. あるパラメタの候補値の下での**安定マッチング**を計算する
4. 生成したマッチ結果で同様のモーメントを構築する
5. 1と4の距離が最小となるようパラメタを探索

■ 候補値が真の値に近ければ、距離はゼロに近いはず

（興味のある人向け）賃金の内生性に対処するため、操作変数として他病院のメディケア補助金を用いたcontrol function approachを第一段階で行うモデルも推定

競争均衡でも賃金マークダウンが存在

- マッチングの無い場合として、金銭移転のある**競争均衡**を考える
- 研修医が受け取る複数の賃金オファーが、均衡に達するまで順に引き上げられていく調整結果（まさに**釣り上げ競争**）として考えられる (Kelso and Crawford, 1982)
- 著者は（参入退出のない）競争均衡下でも一定程度の**賃金マークダウン**が残ることを理論モデルで証明している (Proposition 3)
- 研修医自身が研修の質を重視する場合、賃金を犠牲にしても魅力的なプログラムに配属されたい。これを一種の**授業料**として病院は賃金に転嫁できる
- 参入退出が自由であればこのようなレントはなくなる

選好の推定により賃金マークダウン（の下限）を定量化できる

■ シミュレーション結果

- 推定した選好をもとに、総余剰を最大化する割当を計算し、研修医最適な配分を計算することで、賃金マークダウンの保守的な値を計算
- **最低でも** 平均一人当たり年間\$23,000のマークダウンが存在し、高品質の病院ほどその額は大きい。賃金の内生性に対処するなら\$43,000 (だが推定精度は悪い)
- 研修医の平均年収\$47,000に対し医師助手は\$86,000 (2010年の中央値。Agarwal (2015) より)
- 筆者の結論

低賃金の主要因は参入障壁などでありマッチングではない

■ 他の中中央集権マッチング市場

■ 学校選択

- Campos and Kearns (2024) : LAで「住所による一校指定」から「近隣の複数校からの選択」に変えた地区では成績・進学率が改善し、その主因は学校の質向上で**競争に晒されるようになった高校ほど**効果が大きかった。

■ 日本の研修医 鎌田・小島(2011), Kamada and Kojima (2015), Ikegami et al. (2025)

- 2004年に、従来の医局による人事からマッチング_(DA)による配属を導入
- 2009年、地域偏在の批判から都道府県別の上限が設定される

■ 結論（全体を通して）

- 安定マッチング＝ブロッキングペアがない（＋個人合理性）
- 安定マッチングには二つの使われ方がある
 - 規範的解釈：公平なマッチング（学校選択、保育園入所調整への実装）
 - 記述的解釈：現実にかかる安定な状態（選好の推定、反実仮想）
- 安定マッチングに基づき選好を推定することで、例えば「マッチングが賃金競争を阻害しているか」といった政策的問いを分析することができる

参考資料:
マーケットデザインとは

マーケットデザインは 制度設計の科学



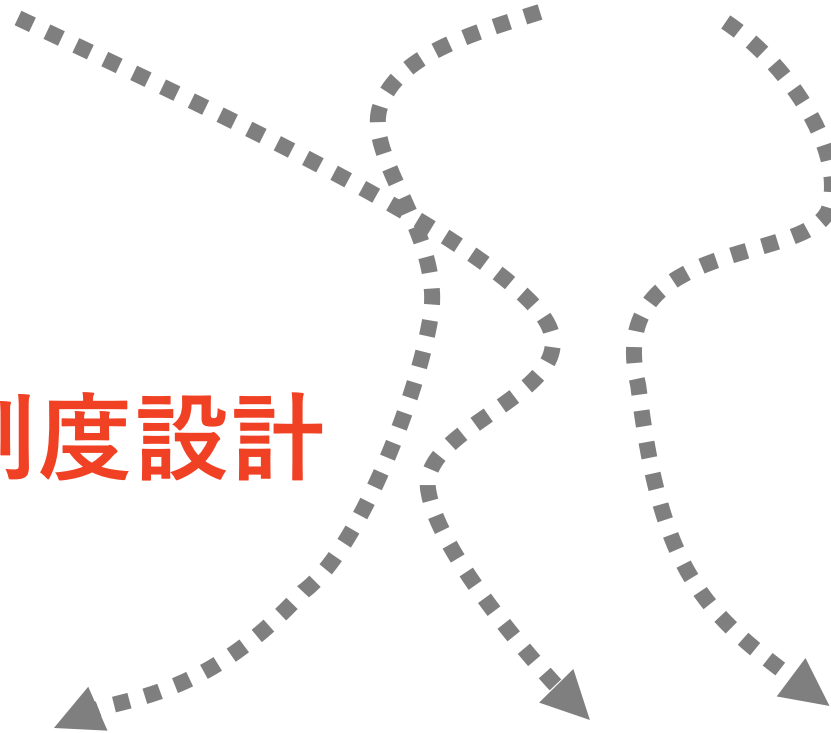
制度

これまでの社会

経験・前例・試行錯誤を

もととした**手探りの制度設計**

帰結（配分）



制度

インセンティブ

参加者の行動

帰結（配分）

従来の経済学

数理モデルとゲーム理論で
参加者のインセンティブと
行動を分析

制度の帰結としての
配分を予測

マーケットデザイン

望ましい配分から
最適な制度を逆算

新たな制度の創出
実社会の課題を解決

こうして設計された**制度**は**実用化**され、**成果**を挙げている

- 研修医の病院配属のほか、学校選択制など
- ドナー交換型の生体腎移植
- フードバンクに対する寄付された食糧の配分
- 周波数帯の利用権・Web広告枠などのオークションによる配分

社会の情報化に伴い、マーケットデザインが有効な場面が急増 & 増え続けている

社会科学の理論を**工学的に応用する** という、
かつては夢のまた夢とされていたことが実現しつつある

制度設計の科学は理論研究だけでは完結しない



理論研究の知見を社会実装し、実社会の問題を解決
社会実装で得られた知見を理論研究へ還元

組織内の人材配置
の効率化



入試制度改革



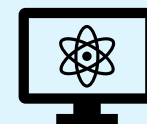
リサイクル市場の
再設計



待機児童問題の解消



コロナワクチンや
災害時の資源の
配分



暗号資産市場の
改善と発展

さまざまな社会問題の解決が、
制度設計の科学のフィールドワークに

小島武仁が「文系」初のERATOを獲得



小島マーケットデザインプロジェクト

[← トップに戻る](#)

プロジェクトホームページ



研究総括 小島 武仁
(東京大学 大学院経済学研究科 教授)
研究期間：2023年10月～2029年3月
グラント番号：JPMJER2301

近年、望ましい制度を科学的に設計する「マーケットデザイン」の研究が進み、様々な資源配分問題に対して制度を設計して実用化することができる段階に至っています。他方、汎用性の高い一般理論が確立されていないことや、信頼性の高い制度導入効果の予測や事後的な測定が不十分であるために、実社会の制度を改善できた例は限られています。

本プロジェクトでは、マーケットデザインの主要理論であるマッチング理論を中心に、制度設計の理論を実社会で広く生かし、その結果として得られた検証結果などの知見を理論へ還元するサイクルを積み重ねていくことで、既存のマッチング理論が適用できる制約の条件や、与えられた制約の下で最大の効果をもたらす制度の構造を明らかにし、適用範囲の広い理論を構築するとともに制度を工学的に社会に適用する手段を具現化します。さらに、可分財を中心に扱ってきた従来の経済理論と不可分財を扱うマーケットデザインを融合する統一理論の構築に挑むことで、あらゆる制度を科学的に設計する社会の実現を目指します。


■ 国内でもマーケットデザインは大きな注目を集めている

参考資料:
東京大学
マーケットデザイン
センター
(UTMD)

UTMDのご紹介

研究理念：

「科学の力で制度をアップグレード」

名称	東京大学マーケットデザインセンター (UTMD)  UTMD The University of Tokyo Market Design Center 東京大学マーケットデザインセンター
設立	2020年秋
所属	東京大学経済学研究科附属
研究員数	研究員：49名、リサーチアシスタント：34名 ※2025年3月時点
研究内容	金銭的なやり取りを伴わずに適材適所を目指す マッチング理論 と、 価格メカニズムを活用した適材適所を目指すオークション理論の研究、 およびこれらの社会実装と効果検証
特徴	社会実装と理論研究の両輪を回す体制を整備している



メンバー（専任の研究員のみ）



センター長
小島 武仁

分野：マーケットデザイン、
マッチング理論、ゲーム理論

Photo by
Toru Hasumi



副センター長
松島 斉

分野：ゲーム理論、ミクロ経済学、
メカニズムデザイン、実験経済学



副センター長
山本 裕一

分野：ミクロ経済学、ゲーム理論



特別教授
神取 道宏

分野：ミクロ経済理論、
ゲーム理論



プロジェクトマネージャー
野田 俊也

分野：マーケットデザイン、
マッチング理論、
ブロックチェーン



研究員
今村 謙三

分野：マーケットデザイン、
マッチング理論、ミクロ経済学



研究員
大谷 克

分野：実証産業組織論、
実証マッチング



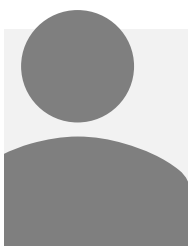
研究員
小田原 悠朗

分野：ゲーム理論、
メカニズムデザイン



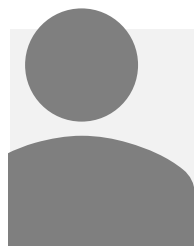
研究員
久野 寛

分野：実証ミクロ経済学



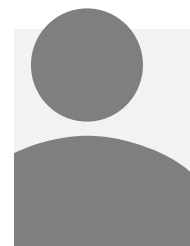
研究員
塚田 憲史

分野：ゲーム理論



研究員
堀越 啓介

分野：ポジティブ心理学、
挑戦研究



研究員
前田佐恵子

分野：公共経済学



研究員
横手 康二

分野：マーケットデザイン、
ゲーム理論

主な社会実装プロジェクト

労働市場

企業内人事配置へのマッチング理論利活用

スポットワーク市場におけるマッチングに関する実証分析

災害・医療

自治体におけるCOVID-19ワクチン接種制度の改善支援

原子力災害時避難計画におけるマッチング理論活用検討

教育・保育

自治体における保育園入所決定アルゴリズムの改革・実証実験

講師と生徒の相性を考慮した最適なマッチング手法の開発

その他

PETボトルリサイクル入札の再設計に関する政策提言

修士論文報告会スケジューリングツールの開発

マッチングアプリにおけるアルゴリズム改良の実証研究

協力企業名一覧

- | | | |
|--------------|-----------|--------|
| ■ シスメックス | ■ タイミー | ■ 郡山市 |
| ■ ブリヂストン | ■ MiDATA | ■ 渋谷区 |
| ■ サイバーエージェント | ■ ネクストビート | ■ 千代田区 |
| ■ ビズリーチ | ■ つくば市 | ■ 多摩市 |
- ...ほか



■ 公立高校入試制度の再設計に向けた提言



青井・今村・小田原・鎌田・野田（2021）
「公立高校入試制度の再設計に向けた提言：
単願制が引き起こす不公平とその解決策」
東京大学マーケットデザインセンター政策提言レポート
<https://www.mdc.e.u-tokyo.ac.jp/news/2615/>

- UTMDでは2021年に高校入試へのDA導入を提言
- 政策提言レポートではより詳細にDAの性質や活用事例等について議論している。私立校や独自入試校もDAに組み入れるシナリオや、想定される懸念についても議論。 <https://www.mdc.e.u-tokyo.ac.jp/news/2615/>

参考資料: 受入保留 (DA) アルゴリズム

DAにおける入学先決定方法









例：

志望順位表		第一志望	第二志望	第三志望	点数
生徒 A		アザラシ高校	ウミガメ高校		600
生徒 B		ウミガメ高校			550
生徒 C		アザラシ高校	イルカ高校	ウミガメ高校	540
生徒 D		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	520
生徒 E		イルカ高校	ウミガメ高校	アザラシ高校	510
生徒 F		ウミガメ高校	アザラシ高校	イルカ高校	505
生徒 G		アザラシ高校			500
生徒 H		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	480
生徒 I		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	475
生徒 J		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	460




生徒の順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校		B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校		J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

例：

志望順位表		第一志望	第二志望	第三志望	点数
生徒 A		アザラシ高校	ウミガメ高校		600
生徒 B		ウミガメ高校			550
生徒 C		アザラシ高校	イルカ高校	ウミガメ高校	540
行きたくない学校は書かなくて良い。書かなかった学校に入学することはない。 ただし、少なく書いたからといって、書いた少数の学校への入学に有利に働くことはない。					
生徒 F		ウミガメ高校	アザラシ高校	イルカ高校	505
生徒 G		アザラシ高校			500
生徒 H				イルカ高校	480
生徒 I				ウミガメ高校	475
生徒 J				イルカ高校	460

もしアザラシ高校に落ちたら、
私立のカブトガニ高校に行こう！

生徒の順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校		B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校		J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

例：

志望順位表		第一志望	第二志望	第三志望	点数
生徒 A		アザラシ高校	ウミガメ高校		600
生徒 B		ウミガメ高校			550
生徒 C		アザラシ高校	イルカ高校	ウミガメ高校	540
生徒 D		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	520
生徒 E		イルカ高校	ウミガメ高校	アザラシ高校	510
生徒 F		ウミガメ高校	アザラシ高校	イルカ高校	505
生徒 G		アザラシ高校			500
生徒 H		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	480
生徒 I		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	475
生徒 J		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	460

生徒の順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校		B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校		J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

学力検査のみを
考慮する学校

□ DAにおける入学先決定方法

例：

志望順位表		第一志望	第二志望	第三志望	点数
生徒 A		アザラシ高校	ウミガメ高校		600
生徒 B		ウミガメ高校			550
生徒 C		アザラシ高校	イルカ高校	ウミガメ高校	540
生徒 D		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	520
生徒 E		イルカ高校	ウミガメ高校	アザラシ高校	510
生徒 F		ウミガメ高校	アザラシ高校	イルカ高校	505
生徒 G		アザラシ高校			500
生徒 H		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	480
生徒 I		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	475
生徒 J		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	460

生徒の順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校		B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校		J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

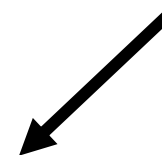
その他の要素も
独自基準で
加味する学校

DAにおける入学先決定方法

例：

志望順位表		第一志望	第二志望	第三志望
生徒 A		アザラシ高校	ウミガメ高校	
生徒 B		ウミガメ高校		
生徒 C		アザラシ高校	イルカ高校	ウミガメ高校
生徒 D		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校
生徒 E		イルカ高校	ウミガメ高校	アザラシ高校
生徒 F		ウミガメ高校	アザラシ高校	イルカ高校
生徒 G		アザラシ高校		
生徒 H		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校
生徒 I		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校
生徒 J		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校

高校が生徒を採りたい順に並べた順位が作成された後は、もう生徒の学力検査の点数等はいらない



生徒の順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校		B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校		J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

例：

志望順位表		第一志望	第二志望	第三志望	志望順位
生徒 A		アザラシ高校	ウミガメ高校		ア > ウ
生徒 B		ウミガメ高校			ウ
生徒 C		アザラシ高校	イルカ高校	ウミガメ高校	ア > イ > ウ
生徒 D		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	イ > ア > ウ
生徒 E		イルカ高校	ウミガメ高校	アザラシ高校	イ > ウ > ア
生徒 F		ウミガメ高校	アザラシ高校	イルカ高校	ウ > ア > イ
生徒 G		アザラシ高校			ア
生徒 H		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	ア > ウ > イ
生徒 I		イルカ高校	アザラシ高校	ウミガメ高校	イ > ア > ウ
生徒 J		アザラシ高校	ウミガメ高校	イルカ高校	ア > ウ > イ

志望順位を
このように
略記する

生徒の順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校		B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校		J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ

DAのルール:

Round 1: すべての生徒は志望順位表で第一希望の学校に応募し、学校は応募してきた生徒を合格順位表の順に定員まで**仮受入**し、残りを不合格とする

Round n: 現在どこにも仮受入されていない生徒は、**これまで不合格となっていない中で、最も志望順位の高い学校**に応募する（もう応募したい学校がなければどこにも応募しない）。学校は、**現在仮受入している生徒と、新しく応募してきた生徒の中から**、合格順位の順に定員までの生徒を新しく**仮受入**し直し、残りの生徒を不合格とする

どの生徒も新しく応募しなくなったら、すべての**仮受入を入学**に変える

生徒は志望順に学校に応募し、学校は合格順位の順に仮受入する
以下、DAがどのように合否判定を進めるかをこの例に沿って解説

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア>ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア>イ>ウ
生徒 D		イ>ア>ウ
生徒 E		イ>ウ>ア
生徒 F		ウ>ア>イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア>ウ>イ
生徒 I		イ>ア>ウ
生徒 J		ア>ウ>イ



生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア>ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア>イ>ウ
生徒 D		イ>ア>ウ
生徒 E		イ>ウ>ア
生徒 F		ウ>ア>イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア>ウ>イ
生徒 I		イ>ア>ウ
生徒 J		ア>ウ>イ



第一志望に応募

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	生徒 H 
生徒 J 	

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

志望順位	
生徒 A	ア>ウ
生徒 B	ウ
生徒 C	ア>イ>ウ
生徒 D	イ>ア>ウ
生徒 E	イ>ウ>ア
生徒 F	ウ>ア>イ
生徒 G	ア
生徒 H	ア>ウ>イ
生徒 I	イ>ア>ウ
生徒 J	ア>ウ>イ



第一志望に応募

生徒 A	生徒 C
生徒 G	生徒 H
生徒 J	

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



生徒 A		生徒 C	
生徒 G		生徒 H	
生徒 J			

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



第一志望に応募



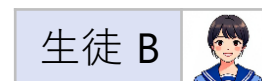
生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



第一志望に応募



生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員オーバー

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	生徒 H 
生徒 J 	



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	



定員以内

生徒 B 	生徒 F 
--	--

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	F	(G)	(H)	I	(J)
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	H	(I)	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	(B)	H	I	E	(F)

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員オーバー

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	生徒 H  不合格
生徒 J  不合格	



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	



定員以内

生徒 B 	生徒 F 
--	--

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	×	I	×
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

定員以内に収まるように、
順位表の下から不合格
とする。

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員オーバー

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	生徒 H  不合格
生徒 J  不合格	



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	



定員以内

生徒 B 	生徒 F 
--	--

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	×	I	×
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

定員以内に収まるように、
順位表の下から不合格
とする。

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



不合格の生徒は次の志望に応募



生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員以内

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	



定員オーバー

生徒 B 	生徒 F 
生徒 H 	生徒 J 

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	F	(G)	H	I	J
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	H	(I)	J
ウミガメ高校	(J)	C	G	D	A	(B)	(H)	I	E	(F)

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員以内

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	



定員オーバー

生徒 B 	生徒 F 
生徒 H 	生徒 J 

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	F	(G)	H	I	J
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	H	(I)	J
ウミガメ高校	(J)	C	G	D	A	(B)	×	I	E	×

定員以内に収まるように、
順位表の下から不合格
とする。

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		イ > ア > ウ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ

生徒Fは第一志望だが、
第二志望の生徒J（1位）により不合格となる



定員以内



定員以内



定員オーバー



生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	×	I	E	×

定員以内に収まるように、
順位表の下から不合格
とする。

DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



不合格の生徒は次の志望に応募

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	生徒 F 



不合格の生徒は次の志望に応募

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	生徒 H 



生徒 B 	生徒 J 
--	--

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員オーバー

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G 	生徒 F 



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	生徒 H 



定員以内

生徒 B 	生徒 J 
--	--

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	(F)	(G)	H	I	J
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	(H)	(I)	J
ウミガメ高校	(J)	C	G	D	A	(B)	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員オーバー

生徒 A 	生徒 C 
生徒 G  不合格	生徒 F 



定員以内

生徒 D 	生徒 E 
生徒 I 	生徒 H 



定員以内

生徒 B 	生徒 J 
--	--

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	(F)	×	H	I	J
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	(H)	(I)	J
ウミガメ高校	(J)	C	G	D	A	(B)	H	I	E	F

定員以内に収まるように、
順位表の下から不合格
とする。

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ウ > イ > ア



定員オーバー



定員以内



定員以内



生徒Gはアザラシ高校以外には行きたくないので、どこにも合格しないことに決定。

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	(F)	(G)	H	I	J
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	(H)	(I)	J
ウミガメ高校	(J)	C	G	D	A	(B)	H	I	E	F

定員以内に収まるように、順位表の下から不合格とする。

DAにおける入学先決定方法

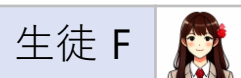
		志望順位
生徒 A		ア > ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア > イ > ウ
生徒 D		イ > ア > ウ
生徒 E		イ > ウ > ア
生徒 F		ウ > ア > イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア > ウ > イ
生徒 I		イ > ア > ウ
生徒 J		ア > ウ > イ



定員以内



生徒 C



定員以内

生徒 D



生徒 E



生徒 I



生徒 H



定員以内

生徒 B



生徒 J



生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	(A)	B	(C)	D	E	(F)	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	(D)	A	G	F	(E)	(H)	(I)	J
ウミガメ高校	(J)	C	G	D	A	(B)	H	I	E	F

□ DAにおける入学先決定方法

	志望順位
生徒 A	ア>ウ
生徒 B	ウ
生徒 C	ア>イ>ウ
生徒 D	イ>ア>ウ
生徒 E	イ>ウ>ア
生徒 F	ウ>ア>イ
生徒 G	ア
生徒 H	ア>ウ>イ
生徒 I	イ>ア>ウ
生徒 J	ア>ウ>イ



定員以内

生徒 A	合格!	生徒 C	合格!
生徒 F	合格!		



定員以内

生徒 D	合格!	生徒 E	合格!
生徒 I	合格!	生徒 H	合格!



定員以内

生徒 B	合格!	生徒 J	合格!
------	-----	------	-----

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

全校定員以内で
マッチ決定

□ DAにおける入学先決定方法

	志望順位
生徒 A	ア>ウ
生徒 B	ウ
生徒 C	ア>イ>ウ
生徒 D	イ>ア>ウ
生徒 E	イ>ウ>ア
生徒 F	ウ>ア>イ
生徒 G	ア
生徒 H	ア>ウ>イ
生徒 I	イ>ア>ウ
生徒 J	ア>ウ>イ



定員以内



定員以内



定員以内

生徒 A 合格 生徒 C 合格 生徒 D 合格 生徒 E 合格 生徒 B 合格 生徒 J 合格

第一志望に入学許可されなかった生徒（例：生徒H）は、より志望度が高い学校の合格最低順位を下回っている。

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	G	D	A	B	H	I	E	F

全校定員以内で
マッチ決定

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア>ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア>イ>ウ
生徒 D		イ>ア>ウ
生徒 E		イ>ウ>ア
生徒 F		ウ>ア>イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア>ウ>イ
生徒 I		イ>ア>ウ
生徒 J		ア>ウ>イ



定員以内



定員以内



定員以内

生徒 A  生徒 C  生徒 D  生徒 E  生徒 B  生徒 J 

第一志望に入学許可されなかった生徒（例：生徒H）は、より志望度が高い学校の合格最低順位を下回っている。

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	合格最低順位は6位→			G	H	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	C	合格最低順位は6位→			H	I	E	F

全校定員内で
マッチ決定

□ DAにおける入学先決定方法

		志望順位
生徒 A		ア>ウ
生徒 B		ウ
生徒 C		ア>イ>ウ
生徒 D		イ>ア>ウ
生徒 E		イ>ウ>ア
生徒 F		ウ>ア>イ
生徒 G		ア
生徒 H		ア>ウ>イ
生徒 I		イ>ア>ウ
生徒 J		ア>ウ>イ



定員以内



定員以内



定員以内

生徒 A  生徒 C  生徒 D  生徒 E  生徒 B  生徒 J 

第一志望に入学許可されなかった生徒（例：生徒H）は、より志望度が高い学校の合格最低順位を下回っている。

生徒の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アザラシ高校	A	B	C	合格最低順位は6位→			G	×	I	J
イルカ高校	B	C	D	A	G	F	E	H	I	J
ウミガメ高校	J	C	D	合格最低順位は6位→			×	I	E	F

全校定員内で
マッチ決定